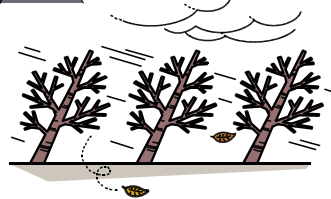




光輝く 来年度に向けて

湯浅小学校
学校だより
平成24年1月25日



来年度に向けて

3学期はまとめの期間ですが、来年度に向けての準備の期間でもあります。本校での第一歩は、児童会の役員選挙です。一年任期の役員ですので、やりがいがあるのと同時にその任務も重要です。

13日(金)に、選挙管理委員会から役員選出に向けての説明がありました。その説明会の時、現会長が4・5年生に向けて、次のように語ってくれました。

ぼくは、2年間児童会という仕事を努めさせてもらいました。ぼくが児童会役員に立候補した理由は、児童会という仕事が楽しそうだったからです。みなさんは、児童会はたいへんでしんどいと思っています。けれど、ぼくは、たいへんと感じたり、投げ出したくなったりしたことは一度もありませんでした。実際、児童会の仕事は、やりがいがある仕事ばかりで、やり終えてからの達成感をとても感じることが出来ます。それはみんなが励ましてくれたからです。それに、この児童会という仕事をして、自分の気がつかない力を出せるようになりました。だから、5年生、4年生のみなさんには、児童会という仕事をぜひ経験してもらいたいです。

今年から、5年生で会長・副会長・書記を一名ずつ、4年生では、副会長・書記を一名ずつ選びます。会長はおもに学校全体の代表として動くことが多く、自分自身も経験して、役員の中で中心になりいろいろなことを提案してきました。副会長は会長を助ける仕事です。書記は、文章を書いたり、まとめたりする仕事です。それぞれ助け合って仕事をします。たくさんの人に立候補してもらいたいと思います。



24日(火)に立候補者が決まり、31日(火)の役員選挙に向けて、ただいま選挙運動中です。来年度の湯浅小学校の中心となってがんばってくれる人たちを、投票権のある3年生以上の人たちには、よく考えて投票してほしいと思います。

インフルエンザに注意を!!

先週末から本校でもインフルエンザによる欠席者が出始めました。他市町では、学級閉鎖や学年閉鎖のところもあります。

予防のためには、日ごろからの健康管理が何より大切です。手洗いうがいをはじめ、規則正しい生活をして、インフルエンザだけでなく、病気の予防に心がけてください。

避難訓練実施

17日(火) 休み時間に地震が発生したという想定で、避難訓練を実施しました。17年前、多くの犠牲者を出した阪神大震災。いつ起こるかわからない地震に備え、学校では授業中だけでなく、休憩中の訓練も必要だろうと考え、今回実施しました。

今回は授業中での避難訓練でしたが、今回は大休憩中の10時30分に地震が発生、休憩中ですから、運動場・教室・ろうか・・・にいるときに子どもたちはどう対応するか、また、職員はどう誘導するかの訓練をしました。

また、その後、各学級で防災にかかわる学習を行いました。

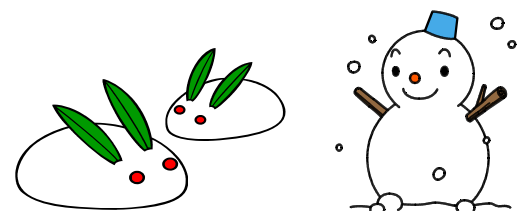


“読書感想文” PART II

今回は、11月25日の和歌山県学校図書館研究大会(有田大会)で、朗読してくれました6年生の児童の感想文を裏面に掲載しましたので、ぜひ、読んでください。

今後の主な予定

- 1月27日(金) PTA役員会
- 2月 5日(日) 授業参観・懇談会
- 2月 6日(月) 振替休日
- 3月22日(木) 卒業式
- 3月23日(金) 修了式
- 3月30日(金) 送別式



本校の実践や子どもたちの活動の様子は、ホームページでもご覧ください。

ホームページアドレス <http://www12.ocn.ne.jp/~yuasa-f/>

コメントの書き込みもできますので、よろしくお願いいたします。

「こども電車」を読んで

六年

「あしたがラストチャンスなんだ。あした必ずみんな、こども電車に乗る。」

玲奈の命を救うため、慧は決意した。玲奈の心と体の両方を助けるために、慧はクラス全員をこども電車に乗せようと考えた。

子どもならだれでも乗れるはずなのに、心に傷を負ったり、自分いそをついたりすると乗れなくなるこども電車。五歳のころからこども

電車に出会い、友達だった遼も父を亡くしたことから、電車に乗れなくなっていた。けれど、こども電車では出会えた父との会話、友達の応援からあきらめない力をえることができた。だからきつと、こども電車が玲奈を救ってくれると思った。

けれど、クラス全員がこども電車に乗ることは、とてもむずかしかった。

一人また一人とこども電車に成功していったけれど、さいこの場面で美咲が、乗れないことを不思議に思った。いじめられていた愛を助けた美咲が、玲奈に仕返しと言ってひどいことをするのも納得がいかなかった。

けれど、それは、美咲の心の中にある幼稚園での出来事が原因だった。心で思っていたことをうまく伝えられないことがきっかけで、本当は仲良くしたいと思っている二人が、仲良くできないことはとてもかなしいことだと思った。

本当のことを言えず、心に閉じ込めたままだった美咲はとても苦しかっただろう。それから、誤解したまま病気になってしまった玲奈も、とても苦しかっただろう。優等生としての周りの期待にこたえ続けてきた美咲だった。玲奈のためにこども電車に乗る「ラストチャンス」の夜、美咲は心から玲奈に助けてほしいと願った。そして、こども電車に乗ることができた。クラス全員がそろって玲奈に会いに行くことができた。こども電車は不思議な電車だ。本当は伝えたい、でも伝えられない思いを伝えることができる。ものすごく会いたいけれど、もう会えない人に会うことができる。現実にはできないことができる。

ほくにも、友達とけんかしたり、家族にいいたいことがうまく言えなかったりしたことがある。クラスのみんなの前では、いいたいことをはっきりと言えないことの方が多いと思う。

午後九時。

こども電車の最終電車が発車する。

子どもの夢や希望を運ぶ電車。

ほくも乗ってみたい。

